

パモジャ PAMOJA



第11号

青年海外協力隊 巢守 世那
2025年 6月21日発行

せなのタンザニア旅行記～Korogwe(コログウェ)編

Hamjambo?

学校が likizo 期間（日本でいうと夏休みの期間）に入ったので、タンザニア国内旅行を再開しました。タンザニアは日本の2.5倍の広さがあるので、その土地によって気候、植物、生き物が違います。またそこに住んでいる人々の生活スタイルや性格も違っているので町をぶらぶらしているだけでもとてもおもしろいです。

まず、今回の旅で向かったのは、同期隊員（私と同じ2024年度2次隊としてタンザニアに派遣された仲間）が派遣されているコログウェという場所です。コログウェはタンガ州にあり、ウサンバラ山地が近くにあるため、山に囲まれ自然が豊かな町でした。バガモヨからバスで4、5時間くらいです。気候はバガモヨと似ていて暑かったです。

コログウェでは、同期隊員の生活や職場を見に行きました。同期隊員の職場は町役場で、教育・農業・コミュニティ開発・家畜についてなど、その分野の専門家たちが集まり、様々な取り組みを行っているそうです。私が行ったときは、ちょうど会議が行われているときだったのですが、「カリブ～」といって急に会議の中に入れてくれ、自己紹介やタンザニア料理の話が始まりました。このゆるっとした感じがタンザニアだなあと思わず笑ってしまいました。

タンザニアで過ごしていると、「あれもないし、これもないし・・・」と「ないもの」に目がいきがちですが、同期隊員の「今あるもの」で工夫し楽しみながら生活している姿がとてもたくましく、私もまだまだできることがあるなと感じました。

Tutaonana tena!



町の様子



とうもろこしがあちらこちらに



チャイづくり

「小学2年生からチャイは作れるよ!」



最近はオレンジがおいしいです! 1つ 100 シル(5円)



ひさしぶりのからあげ♡



マンダジ(ドーナツ)

同期隊員の一人が家畜飼育という職種で派遣されて

いるため、同期に教わりながら鳥の解体から夜ご飯づくり。初めは怖いかわいそうという気持ちもありましたが、命をいただいていることに感謝をして食べようという気持ちが改めて強くなりました。



キャツサバをあげたもの



ヤギのお肉とチプシ

